

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都地方公務局園部支局	階数	地上3F
建設地	京都府南丹市園部町小山東町平成	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、防火指定なし	平均居住人員	150 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,808 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年1月 予定	評価の実施日	2009年1月13日
敷地面積	2,037 m ²	作成者	梓設計
建築面積	846 m ²	確認日	2009年1月13日
延床面積	2,232 m ²	確認者	梓設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	2階執務室は中間期には開口部に設けた換気スリットから自然通風を有効に行える計画としています。園部の気候の風土を生かし、壁面緑化・太陽光発電等を採用し環境配慮を図っています。また、西面には開口部の比較的小さい書庫を配置し、東面の執務室にはLOW-Eガラスを採用することで空調負荷の低減を図っています。	
Q1 室内環境	ほぼ全面に空気汚染のない仕上げ材を使用している。	Q2 サービス性能 信頼性・更新性を考慮した計画としている。
LR1 エネルギー	断熱性能を高め、負荷抑制を図っている。太陽光発電、高効率照明器具、照明制御等を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 景観への配慮した計画としている。
	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材を採用している。	LR3 敷地外環境 交通負荷抑制を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい